

「相互信頼・相互理解」の精神を基調に、
 新たな時代の運動に果敢に挑戦し、未来へつなぐ



闘争日程	2月28日(火) 第1回統一交渉日
	3月7日(火) 第2回統一交渉日
	3月14日(火) 山場ゾーン ~22日(水)
回答指定日	3月15日(水) Aブロック単組
	16日(木) BCブロック中戦単組
	17日(金) BCブロック単組

労働者の雇用の安定と生活不安・将来不安を払拭するための2017年春闘方針を全会一致で決定



岩本中央執行委員長挨拶



議長団

写真左：小島中央委員(住友)
 写真右：齋藤中央委員(古河)

全員でのガンパロー三唱

2017年春季闘争

全電線に結集する組合員の皆さん、おはようございます。

本日(2月21日)は、全電線統一要求提出日です。



JEWU 2017年春季闘争の取り組み

I

「先を見据えた豊かさと生活の安心・安定をめざす」ための『総合生活改善闘争』との位置づけのもと取り組みます。

雇用を守る取り組み

- 雇用の維持・確保を、最優先すべき最大の課題と位置づけ、組合員の雇用安定に向けて、継続的な取り組みを推進する。

賃金

- 「定期昇給をはじめとする賃金構造維持分の確保」を図ったうえで、賃金引き上げは、35歳標準労働者賃金で3,000円以上を個別賃金方式で要求する。

年間一時金

- 「生活保障部分(固定部分)」と「成果反映部分(変動部分)」を併せて5ヵ月中心とし、産別ミニマム基準は「平均原資年間4ヵ月」とする。

退職金引き上げ

- 「高卒・勤続42年・60歳・標準労働者」の定年退職金には、わが国の基幹産業に従事している重要な労働者が、企業とともに一定の責任をもって職務を果たし、企業の発展に向け継続的に努力してきた功績が含まれているものであるとの認識のもと、当面取り組むべき到達水準を2,200万円とし、標準労働者モデルの現行水準の確認を進める。

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み

(1)労働時間短縮

当面の目標として各単組は、年間総実労働時間1,900時間台の定着のために積極的に取り組む。

完全週休2日を原則に、年間休日日数の到達目標である125日をめざすなかで、現行の年間休日日数から1日増に取り組む。

(2)次世代育成支援

すべての単組において労使で一般事業主行動計画策定の取り組みを行い、内容の点検・充実に取り組む。

(3)育児・介護への対応

制度のさらなる充実を図るとともに、すべての労働者が制度の対象となるよう活用促進に向けた実効性ある取り組みを行う。

その他

- 60歳以降の雇用確保
- 労働諸条件および働く環境の改善の取り組み

II

生活環境の改善と産業政策の実現に取り組めます。

連合・金属労協、関係諸機関、協力議員への展開など、幅広い取り組みを推進していきます。

具体的には、環境配慮型電線の普及促進、IoT技術を活用したスマートグリッドの構築、無電柱化の整備の拡充などについて、とりわけ、政策協定を締結している、石上としお・矢田わか子両参議院議員より国政の場へ意見反映を行い、実現に向け積極的に取り組んでいきます。

矢田わか子さんを応援しよう！
あなたと動けば、未来は変わる。 <http://yatawaka.com>

矢田わか子、3つの「やります！」

- 1.働く 「誰もがイキイキと働ける社会」づくりに挑戦します！
- 2.暮らす 「将来にわたって暮らしを支える社会」を実現します！
- 3.育てる 「子どもを健やかに育てられる社会」をつくります！



いし がみ
石上としおさん
POWER to JAPAN
参議院議員 石上としお

4 月のチャレンジ
▼公式サイトはこちらを応援しよう！
<http://いしがみとしお.com/>

Facebook 石上としお twitter toshio_ishigami

もて請下さい！



III

産別自決を基本に全単組が一体となった闘争を推進します。

各単組は、上記内容に基づき、要求を提出します。